



明峰

令和7年12月8日

第19号

校長 岡野利男



美術同好会の12月の力作です。
毎月、素敵な生徒会
掲示板に感謝ですね。

「25対23」でいたい

女子バレーボール部が市中総体新人戦において第3位となり県大会出場を決めました。応援しながら、思ったことがあります。(勿論、門外漢の私には、プレーのことは全く分かりません…。)

予選リーグの試合の2セット目において、本校バレー部は、対戦相手に1点も与えない【25-0】のパーフェクトな戦いぶりを残しました。すごいことですね。なかなか達成できることではありません。

一方、準々決勝の2セット目は、【27-25】の大接戦でした。これもまた、すごい!!監督の立場からすればヒヤヒヤでしょうが、価値あるゲームです。

さて、スポーツの話から離れます。人の一生において【25-0】の人生を送る人はおそらくいません。先述の「思ったこと」というのはこのことです。一度も失敗・ミス・負けのない人生を送る人などいないはず。そして、それは学校生活であっても同じことが言えます。たくさん失敗をして、数えきれないほどミスもして、何度も何度も叱られた場面があったけど…。それでも、最後には、【25-23】で“いい学級”だったな、“いい一年間”だったなって思えばそれでいいのではないかなと思うのです。

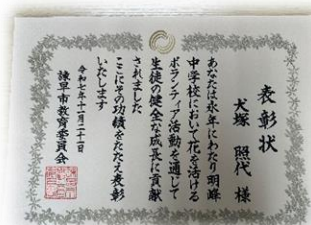
順風満帆な航海よりも、波高き海の航海の方が達成感は大い。立ち足かかる荒波に、船を転覆させない術は、船の舳先を真っすぐに波に向けることただ一つだと言います。多くのミスも、何度もの負けも味わいながら、それでも【25-23】を目指し、決して逃げることなく正面から、令和7年度の終盤戦に臨もうと思っています。

犬塚さん 諫早市教育委員会表彰受賞

明峰中生を、職員を、来校のお客様を素敵な気持ちにしてください。学校玄関の生け花。そのボランティアの犬塚さんがこの度、諫早市教育委員会表彰を受賞されました。記事は、11月27日の長崎新聞です。おめでとうございます。

本日、犬塚さんが表彰状を持って来校されました。「ぜひ、手に持って記念写真を」とお願いしたところですが、断られました…。残念。

今回は、もみの木、バラ、ガーベラ、スプレーストック。心が温かくなりますね。クリスマス仕様です。犬塚さんとは少し早めの「よいお年を」の挨拶をしたところでした。



11月30日の長崎新聞

この日の長崎新聞は、明峰中学校の名前が3か所に…!!

1つ目は、前日29日に九州中総体駅伝競技で見事な活躍を果たした明峰中チームの健闘を称える記事。(当日は、40名近くの一般生徒の応援がありました。嬉しかったです。) 2つ目は、同じく29日に長崎市で開かれた全日本サッカー森保監督の講演を聞いた1年3組森山さんのインタビューコメント。そして、3つ目は下の記事。3年2組伊藤さんの作文コンクール受賞、おめでとうございます!!

伊藤さん(明峰中3年)本県1位 生命保険作文コンクール

「わたしたちのくらしと生命保険」をテーマに生命保険文化センター(東京)が主催した中学生作文コンクールで、諫早市立明峰中学校の伊藤翔太さんが本県1位の栄冠を手にしました。

1993年から毎年実施。全国から4万5000人超、県内では300名以上の応募があった。

中村さんの作文の題名は「明日への約束」。昨夏に亡くなった祖父が遺した生命保険。祖母が安心して暮らしていけることを知り、どんなに忙しくても、誰かを大切にしたい。そんな気持ちで「生命保険は大切な約束。大切な約束を守る人を守ってほしい」と書いて、表彰状をいただきました。

明峰中では21日、生命保険協会福岡支店の高橋和幸部長が賞状を受け取った伊藤さんに、おめでとうと激励した。

(山本 昭)

生命保険がテーマの中学生作文コンクールで本県1位になり、表彰された伊藤さん(右) 一諫早市立明峰中